



No.14

しょうわ 広報

昭和48年9月発行 役場企画室 編集



親と子のつどい

町の人口

8月1日現在

男 3,122人

女 3,109人

計 6,231人

世帯数 1,534人

8月27日午後5時から、押原小中学校庭で「親と子のつどい」が開かれました。

これは夏休みの行事の一つで小学校2年生の親との間で行なわれたものです。はじめに親子の話し合いで「つどい」が始まり、そのあといろいろなゲームを楽しみ、最後は親子で「わ」になり夜空に花火をあげて夏の夜を過ごしました。

◇◇◇ 秋の全国安全交通運動 ◇◇◇

9月21日～9月30日

交通安全県民総講習実施

地 築 が 一 部 の 喰 飯

昭和四十七年九月、飯喰字乃戸および字新居前に居住する人達三十二名から「日常における行事、交際等は、すべて築地新居の者と付き合っているが、分間図上から、昔からこの地域は築地新居に入り込んでおり、何かと不都合を生ずるので、この悩みを解消してほしい。」と、強く要望されましたので、この件を昭和四十七年十二月の町議会に上提、全会一致をもって可決されました。その後、山梨県知事に申請、認可を求めましたところ、昭和四十八年七月五日付で、別記の通り告示されました。従って、これらの人達三十二名を始め、この地域の田畑の番地も、この際変更される訳ですが

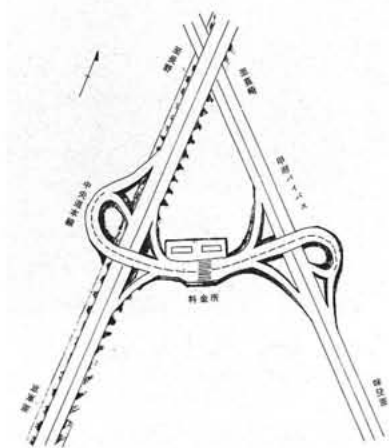
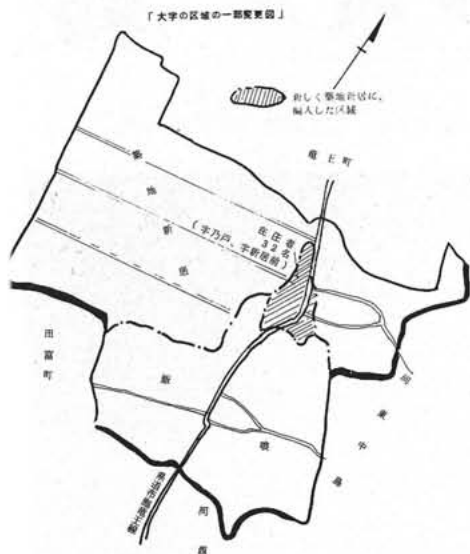
これは、これに関係する人達にすでに通知済です。今後、町の開発と共に、これに似たケースが生れること、思います。

⑦ 山梨県告示第四百六十八号 地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百六十条第一項の規定により、中巨摩郡昭和町の字の区域を次のとおり変更する旨

昭和四十八年七月五日 山梨県知事 田 辺 国 男

昭和町大字飯喰字乃戸一から一五までを○昭和町大字築地新居字乃戸に変更する

昭和町大字飯喰字新居前、一六から一七一までを○昭和町大字築地新居字新居前に変更する



まち便り

中央道インター杭打ち

経済のめまぐるしい発展の中でわがまちでも、中央自動車道と、インターチェンジ、新県道、国母工業団地、釜無工業団地と、国、県、町と一体になり新しい町づくりに努力しております。そこでうつり変りゆくまちの最新情報をお伝えします。

今回は中央道インターチェンジの中心杭打ちと、中央道本線と甲府バイパスを結ぶ、連絡線の内容をお知らせします。

中心杭打ちは、日本道路公団、地元地権者、町との間で慎重に協議され七月二十五日から六日間にわたり公団、地元地権者、町の立合のもとで行なわれ、八月十四日「杭」の確認をし、次の設計協議の段階に進みました。

議会便り

昭和町定例議会は去る六月二十九日開会され、条例、予算、請願等の重要案件を会期十一日間慎重審議し、これを原案通り可決、最終日議会議長の改選を行い七月九日閉会致しました。

新しく選出された議長以下各委員長は次のとおりです。敬称略

議長	有泉淳夫 再
副議長	田中良夫 //
総務委員長	深川市郎 //
産業土木委員長	小宮山卓良 //
監査委員	小沢 弘 新
中央道対策特別委員	井口金夫 //
水源対策特別委員	山下 璋 //
團場整備特別委員	井上久雄 再
教育厚生委員長	坂本 馨 新

尚定例議会は三月、六月、九月、十二月に行なわれますので町民こそって議会活動を傍聴して下さい。議会活動について、広報発行の希望が多いので、出来るだけ早い時期にと考えて居ります。

町の情報 北から南から 町の情報

老人及重度心身障害者 居宅整備資金貸付



この制度は、六〇才以上の老人と重度（一ノ二級でいい）心身障害者のために専用居室を増築し、または改築するときに必要な資金を貸付けること。

貸付対象者

専用居室を自力で改築、または増築することが困難な者で、県内に居住し、かつ次の者に貸付ける。

- 一、親族である老人と同居する者
- 二、重度心身障害者と同居する者
- 三、同居しようとする者もよい

貸付条件等

- 貸付限度額 五〇万円
- 償還期限 一〇年（二年据置）
- 償還方法 元利均等月賦償還

保証人 二人

- 申請に必要な関係書類
- 一申請者及び保証人の住民票の写し
- 二保証人の前年度の市町村民税完納証明書

三工事費見積書及び実測平面図

四重度心身障害者に係る資金の交付を申請しようとする者は、当該重度心身障害の等級を証する所轄福祉事務所長の証明書

廃プラスチック

製品処理について

近代科学の発展により、近年はプラスチック製品はあらゆる方面に使用されており、特に農村においても園芸用として多量に利用されておる現状であります。

しかしながら、これらの廃物処理は公害問題を起こしており社会問題となっているのも現状で、すでにニュース等でご承知のことと思います。

このため、県、市町村は共同してこの処理をすべく検討してまいりましたが、県下全域を対象とする園芸用廃プラスチック処理加工場を設置することを決め、来年四月から操業するよう推進することになりました。

従って、それまでの間は、各自管理するか焼却、埋土（二〇センチメートルさきさみにして）等により処理するようお願いをいたします。

焼却する場合は附近に迷惑のからぬよう、充分注意して下さい。又、道路、河川等へ棄てることは厳に慎んでいただきました。

「ひばり」



「れんげ」



に決まる

町の鳥と花 選定結果

本町においては、町のグリーンプランとともに緑化思想の普及、推進を図っておりますが十四年に選定した町の木「つばき」に引き続き、本年度愛鳥週間になんで、町の鳥、町の花を選定すべく緑化推進委員会に諮問したところ、さらに緑化の普及、高揚を図る意味においてアンケート調査により選定することが望ましい旨答申を得たので、押原中学校のご協力を求め生徒を通して調査の結果次のような集計を得ました。

- 町の鳥
- 一位 ひばり 二位 つばめ 三位 すずめ
- 町の花
- 一位 れんげ草 二位 ひまわり 三位 きく

町では、この結果を尊重して検討した結果、町の鳥に「ひばり」町の花に「れんげ草」という田園風景を思わせる、まさに本町に当てはまるものとして決定いたしました。

づくり、 スポーツ大会

ママも



敷島体育館で

ママさんバレー ボール大会

昭和町にママさんバレー部が発足して、一年と八ヶ月になります。今年の部員は百四十七名の大世界となりました。毎月十四日、三十日を定例の練習日として、鷹野敏夫先生の暖かい指導のもとに頑張っております。

去る七月十五日郡体育祭りが開催されました折には第四位に入賞する事が出来選手をはじめ部員一同益々張り切っております。

八月六日より毎週月曜日に十回に渡りママさんバレーボール教室も開かれ、参加申し込み者も七十二名となり、体育館で汗を流しながら、パスレシーブ トス アタックと技をみがいて居ります。いつでも若く、健康でありたいと願いながら、バレー部の近況をお知らせ致します。



町長さんも

中巨摩郡町村議員ソフトボール大会



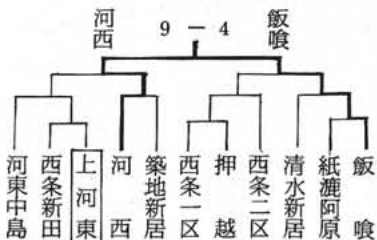
釜無スポーツ公園で

昭和四十八年度郡町村議員ソフトボール大会は九月三日釜無川スポーツ公園に於いて、十一町村が参加し、熱戦がくりひろげられました。

本町は、町長はじめ各議員さんの活躍で決勝戦に勝ち進み敷島町と対戦し惜しくも敗れ、準優勝となりました。

ソフトボール大会 対抗ドッチボール

(男子)ドッチボール(女子)大会は去体育館で行なわれました。しての試合でしたが、熱戦の末河西チームは3位は上河東チームでした。



夏の体

—町ぐるみス

パ
パ
も



**三十五才以上
ソフトボール大会**

部落別三十五才以上ソフトボール大会は去る八月十九日押原小中学校庭に於いて西条新田を除く、一〇チームが参加して開かれました。三十度を超える暑さの中で熱戦を転開し、押越対西条二区の間で決勝戦を行ない、接戦の末押越チームが優勝し三位は築地チームでした。

郡大育祭総合で六位

第三回子供クラブ

第3回昭和町子供クラブ対抗ソフトボールは7月29日押原小中学校庭、ドッジボールはソフトボールは、あいにくの小雨の中を押越が飯喰チームを9対4と破り優勝しました

女子ドッジボール成績
優勝 押越 準優勝 西条一区
3位 西条二区チームでした。

尚、優勝した河西チームは8月15日釜無川スポーツ公園で行なわれた郡大会に出場し1回戦飾形町と対戦し6対5で勝ち進み2回戦で甲西町と対戦5対6の接戦で惜しくも敗れ去りました。

第二十四回中巨摩郡体育祭は去る七月十五日櫛形中学校を中心会場に開催されました。昭和町体育協会からも多数参加し総合六位の成績をおさめました。尚種目別成績は次のとおりです。(敬称略)

- | | |
|-----------|--------------|
| 壮年々少砲丸投 | 三位田中 満(築地) |
| 壮年々長一五〇〇m | 一位伊藤 栄(阿原) |
| 男子リレー | 三位 |
| 陸上女子総合 | 三位 |
| 一般一〇〇m | 一位山本久幸 (中島) |
| 四〇〇m | 二位伊藤 浩 (阿原) |
| 壮年々少一〇〇m | 一位武井 祐司(上河東) |
| 走巾跳 | 三位山田 定幸(押越) |
| 砲丸投 | 一位渡辺 和善(二区) |
| 男子リレー | 三位 |
| 陸上女子総合 | 三位 |
| 一般一〇〇m | 一位山本久幸 (中島) |
| 四〇〇m | 二位伊藤 浩 (阿原) |
| 壮年々少一〇〇m | 一位武井 祐司(上河東) |
| 走巾跳 | 三位山田 定幸(押越) |
| 砲丸投 | 一位渡辺 和善(二区) |
| 男子リレー | 三位 |
| 陸上女子総合 | 三位 |
| 一般一〇〇m | 一位山本久幸 (中島) |
| 四〇〇m | 二位伊藤 浩 (阿原) |
| 壮年々少一〇〇m | 一位武井 祐司(上河東) |
| 走巾跳 | 三位山田 定幸(押越) |
| 砲丸投 | 一位渡辺 和善(二区) |

各課紹介

＝税務課＝

近年目まぐるしく変る税法と取組みながら税の賦課、徴収の両輪の歯車がスムーズの回転によって町財政の重責を全うして居ります。

日頃他人の所得や財産を調査し経済的マイナスをもたらす税金を徴収するいわんや昔の悪代官のように思われる税務課員、しかし町の大きな発展につながるのだからと適正且つ公平な課税を目標に縁の下の力持ち的な役割であるが住民の好かれる税務課として日夜努力しております。

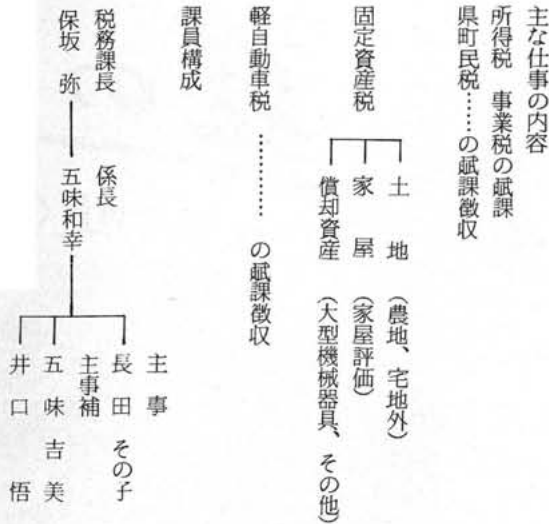
地方税法一部改正

昭和四十八年度地方税法の一部改正に伴い本年度から農地を除く土地を住宅用地と、その他の宅地（非住宅用地）に分け更に非住宅用地については個人所有と法人所有とに分けてそれぞれ異なる課税方式で固定資産税を課す事になりました。

特に本年は三年毎に行なわれる評価替えの年度に当り全国各市町村においてその土地の筆毎の評価替えが行なわれました。本町に於ては昭和四十五年度の価額三、三平方米当り一万二千円が、昭和四十八年度は（県指定）三、三平方米当り三万三千円（いずれも昭和町最高地）と実に二、七倍の評価額の上昇率となっております。

このように分けて課税される訳です。又この度の改正の中でこれは固定資産税を宅地の用途別に課税していかなければなりませんので宅地を所有している納税義務者（個人法人共に）で宅地を住宅用地としている場合にはその宅地の所在面積その上に建築されている家屋の床面積及び用途などを申告書に記載し提出するよう義務付けられております。

(1) 住宅用地とは専ら人の居住の用に共する家屋の敷地……専用住宅敷地という
(2) 非住宅用地とは住宅用地以外の宅地（作業場、事務所、倉庫等）の敷地をいう
申告書の様式、記載方法については後日別途納税者宛に送付いたします。



この新評価額で課税いたしましたすと税負担が急激に増額しますので課税標準の特例を設け課税標準額が評価額の二分の一になりますと頭打ちになります。従って今年度は、評価額と課税標準額との割合が百分の十五以下の場合には百分の十五に上げられます。

改正内容は下記の通りです

	住宅用地	非住宅用地
昭和四十八年度	現行の調整方法を継続するが評価額と課税標準額との割合が100分の15以下の場合には100分の15に上げます。また評価額と課税標準額との割合が100分の50以上を(2分の1)を超える場合は100分の50で頭打ちとします。	個人の所有するもの 住宅用地と全く同じです 法人の所有するもの 次の算式によって課税標準額を算出いたします。 $A - \left\{ \frac{A-B}{3} \right\} = C$
昭和四十九年度	昭和48年度と同じ方法ですが評価額と課税標準額との割合が100分の30以下の場合には100分の30に上げられます。したがって昭和49年度の課税標準額はすべて100分の30から100分の50の範囲の中に入ってくる事はなりません。	個人の所有するもの 次の算式によります。 $A - \left\{ \frac{A-B}{3} \right\} = C$ 法人の所有するもの 次の算式によります。 $A - \left\{ \frac{A-B}{3} \right\} = C$ Bは48年度と同じ
昭和五十年年度	すべて評価額の100分の50が課税標準額となります。 A=評価額 B=現行の調整方法による算出した課税標準額 C=当年度の課税標準額	個人の所有するもの 共に評価額が課税標準額です 法人の所有するもの

◎参考 昭和47年度迄は課税標準額× $\frac{14}{100}$ ＝固定資産税額

戸籍及び住民票、印鑑証明外
諸証明等手数料のことについては
戸籍関係は昭和四十八年七月
一日から法務省政令一五六号)
住民票その他諸証明は七月十日
から(町手数料条令)各一枚又
は一件につき七十円に改正され
ました。

住民基本台帳 (住民票)

氏名	性別	生年月日	住所
山梨県中巨摩郡昭和町			
山梨県中巨摩郡昭和町			
山梨県中巨摩郡昭和町			

この印鑑
いことを

50
円から70
円



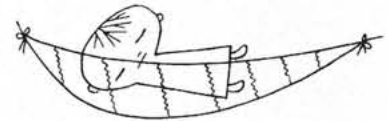
住 民 課

9 月 行 事 予 定

第 一 次 住 民 検 診 日 程

月 日	時 間	場 所
9月25日	午前 9:30 - 午前 10:40	清水公会堂
	午前 11:00 - 正后	新田公会堂
	午後 1:00 - 午後 4:30	二区前切公会堂
9月26日	午前 9:30 - 午前 11:40	一区妙源寺
	午後 1:00 - 午後 3:30	押越公会堂
	午後 3:40 - 午後 4:30	阿原公会堂
9月27日	午前 9:30 - 午前 11:40	中島公会堂
	午後 1:00 - 午後 3:00	築地公会堂
	午後 3:10 - 午後 4:30	常永農協
9月28日	午前 9:30 - 午前 11:00	上河東公会堂
	午前 11:10 - 午前 11:50	樋口一雄氏宅
	午後 1:00 - 午後 3:20	常永保育園
	午後 3:30 - 午後 4:30	公民館前

日	摘 要	該 当 者	場 所	時 間
6日(木)	ツベリクリン検査判定			
12日(水)	妊婦健康相談母親学級	妊 婦	公民館	1時 -
13日(木)	BCG接種	ツ反陰性 疑陽性者	"	"
19日(木)	3才児健康診査	3才児	公民館	1時 -
20日(金)	"	"	"	"
25日(火)	結核住民検診			
28日(金)				
27日(木)	乳児健康相談	乳 児	公民館	1時
28日(金)	"	"	"	1時30分
30日(日)	愛 育 祭		"	8時30分



飲酒運転事故と違反検挙状況
(昭和四十八年上半年県下)
のまとめ

- ◎ 事故件数が大巾に減少した。昨年の百八十五件に対し、本年は百四十九件で一九・五%減少し、事故率も昨年の六・七%に対し、五・八%に低下した。
- ◎ 死亡事故が増加した。昨年の一件に対し、本年は十二件と増加した。
- ◎ 発生は深夜が多い。午後八時から午前二時までの時間帯に飲酒運転事故の六十%が発生し、死亡事故の八十三%が発生している。
- ◎ 若年層の者が多い。飲酒運転事故は二十才代が四十%、三十才代が三十%。

農閑期に手当

農業者転職訓練生募集

県では農業から他の産業へ就職を希望される方たちに対して、就職を有利に、また容易にするための職業訓練を行います。この訓練は、農業従事者ならどなたでも受講できますので、近隣の方々をお誘い合わせのうえ受講してください。

訓練を行なう科目内容及び場所
実施校 甲府技能専門学校
電話 甲府五二一五四八八
訓練科 塗装科 溶接科
詳しくは役場振興課へ
訓練の期間
昭和四十八年十二月一日から
昭和四十九年二月二十八日
まで

山梨県警察官募集

- △ 受験資格
昭和二十一年四月二日から昭和三十一年四月一日までに生まれた男子
- △ 試験期日
第一次十月七日 第二次十一月中旬
- △ 場 所
県立甲府工業高等学校
- △ 受験申込
昭和四十八年九月一日から九月二十八日
- △ 採用予定
昭和四十九年四月一日、人員約六十五名
- ◎ 詳しいことは派出所、駐在所、警察署へ問合わせて下さい。

若人のつどい



フォークダンスで

大いにハッスル

若人のつどい

青少年のための昭和町民会議では、去る八月二十六日に白樺湖畔において昭和町若人のつどいを開催しました。

これは青少年の夏季対策の一環として行なわれたもので高橋生および勤労青少年男女四〇名が参加して行なわれ、あいにくの雨でしたが、白樺湖畔では、自己紹介で始まり歌、ゲーム、フォークダンスにと若いエネルギーを大いに発散させ若さが満ちあふれていた。

こんな意味から参加した若い人達は、ひとしく今日の集いを高く評価し、来年は更に多くの若人の参加を希望しています。町としては初めての催しでありましたが、概ね成功裡に終了し得てよろこんでいます。

文学部門に 思いをよせて

町内に文化協会が組織されてはや二桁の年輪を重ねた。

当時の首長の施策の一端で大きくは社会教育を目指して組織されたものである。敗戦の混乱により人とみに乱れた。経済の復活にやっきになって国民全体が活動し為政者と一体となった結晶が現今のような大きな発展と文化の向上を見、人間造成と福祉に意を注ぐ様な過程をたどっている。

人間の福祉は物質と精神が合致してこそ得られるものであると思う。そんな意の一翼を担うての協会活動だが至難の面も多い、発足当時から活動が中途でピンボケしてしまつた感も

あり大きく反省をもつて居る一人である。

今は公民館の建設と教育長の指導よき各部門とも活発な活動を行なっているが大きな実りを願いたい。

さて短文学部門だが過般来不幸続きで落胆限りない。一区中所ひさこの死去から久保田美英さん上杉前村長、武田ためさん各先輩方の逝去に次ぎ会長の窓柳君が病床にある。会の方も一新して柳沢君に首頭をとつてもらふようになった訳だが町民大方の賛意と協力がなんと云つても大である。老若を問わず全町民がもう一步開眼して協会に愛撫の瞳をむけ町文化の向上を見たいと思う。またそれが私共愛好者の責務であり先輩者に対し慰霊の道にも通じる事と思う心新たに町民各位の力添えを願ひ指命に向つて前進を続けたいともっぱら考えて居る者である

飯 喰

山 本

文化協会会員



私たちの作品

川 柳

汚水呑む川は企業にさからわず

山本山水

笹舟の夢消し小川消して街

長沼舟水

石橋をたたいて渡った足すべ

小林 国

清水ちよるちよる思い出の故郷へ来る

井口素木

これしきの石につまづく急な用

坂本雅堂

白黒の石で火花の夜更ける

桑原丑寅

待ちばうけ小石にふんまんたたきつけ

森田狂花

生きる意地不死鳥となり舞いあがり

中沢のり子

冬枯れて鶏の餌つく雀二羽

五味ふく代

春日和三日坊主へ買う小鳥

井口紫水